

根室線*は、滝川市から新得町の4市2町を結ぶ136.3kmの路線。 空知・上川と十勝をつなぐ交通手段となっています。

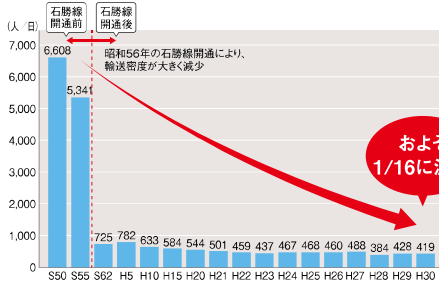
*滝川～新得間

現状は…

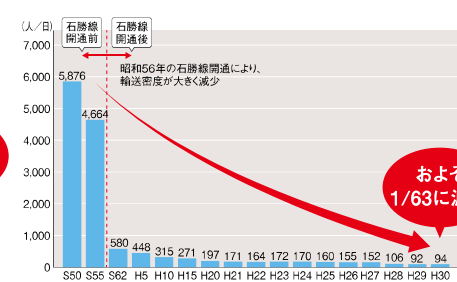
利用者が年々減少しています

昭和56年の石勝線開通で道央と道東を結ぶルートが移行し、沿線利用中心の線区となったほか、沿線人口の減少や少子高齢化、自家用車の普及により、平成30年度の輸送密度は昭和50年度と比較して滝川～富良野間で約16分の1、富良野～新得間で約63分の1まで減少しています。

根室線(滝川～富良野間)の状況[輸送密度*1の推移]



根室線(富良野～新得間*2)の状況[輸送密度*1の推移]



*1 ご利用されるお客さまの1日1kmあたりの平均人数

およそ1/16に減少

およそ1/63に減少

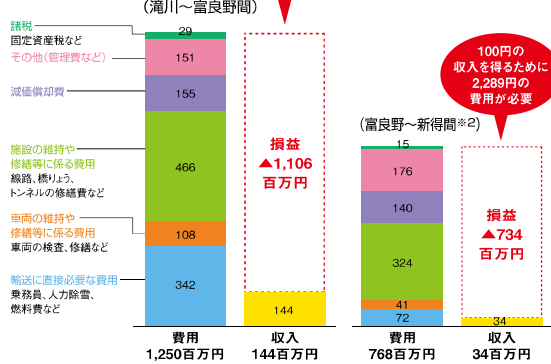
鉄道には莫大な費用が必要です

- 滝川～富良野間と富良野～新得間の合計で、約1億8千万円の収入に対して、約20億2千万円の費用がかかっており、年間約18億円の赤字を計上しています。
- 1913(大正2)年に完成した第3空知川橋りょうに代表されるような100年を経過した老朽土木構造物が多く存在し、維持管理に苦慮しているほか、山間部を線路が通る区間も多く除雪作業など維持管理にも苦慮しております。



第3空知川橋梁(根室線 東滝川～赤平間) 1913(大正2)年完成

2018(平成30)年度 根室線収支状況



100円の収入を得るために869円の費用が必要

100円の収入を得るために2,289円の費用が必要

線区の状況を皆さまにご理解いただくと共に、皆さまのご協力が必要です。

*2 東鹿越～新得間バス代行

根室線の取り組み

関係する皆さまのご理解とご協力を得ながら、さまざまな取り組みを進めています。



滝川駅でイベントに合わせた臨時観光案内所の設置

「たきかわ菜の花まつり」に合わせ、令和元年5月16日～22日、滝川駅待合室内に期間限定の案内所を設置しました。JRを利用して滝川にいられたお客さまにイベント内容やアクセス等をご案内しました。



観光列車による乗客

ラベンダーエクスプレスの運行

「JRで行く 富良野・美瑛」として、平成6年より富良野・美瑛キャンペーンを実施し、富良野・美瑛広域観光推進協議会と連携して、札幌～富良野間に観光列車として「フノラベンダーエクスプレス」を最盛期に2往復の運行を行いました。



幾寅駅「映画のロケセット展示」と「花壇整備」

平成11年公開の映画「鉄道員(ぽっぽや)」のロケ地となった駅で、駅舎は映画に登場する駅名である「幌舞駅」の表示を掲げ、駅舎正面には婦人会による花壇を設置しています。



富良野駅に「花ポット」を設置

ふらの観光協会・富良野建設業青年会により、富良野駅前のロータリーに花壇を整備しました。ポットには、富良野市の特産品であるワイン樽を使い、ラベンダーを中心とした花々をベストシーズンに合わせて植え、国内外から訪れる観光客をお出迎えています。



「富良野市根室本線・富良野線利用促進協議会」の開催

市内の商工観光、農業関係者等37名が参加して、平成31年4月10日に「富良野市根室本線・富良野線利用促進協議会」を開催。参加者を通して市民に対し、鉄道の利用を促進する確認をしました。



赤平市内のNPO法人による鉄道利用

NPO法人赤平市民活動支援センターによる、「乗って応援JR根室本線の旅」で、赤平から富良野への日帰り旅行を30名の方に楽しんでもらいました。



芦別駅前広場の整備

芦別市による駅前広場の再整備が完了し、令和元年12月に供用を開始しました。芦別市内の交通結節点として、利用者の利便性が向上しました。

新得駅構内での根室本線フォトコンテスト入賞作品の展示

平成30年度に実施した「JR根室本線(滝川～新得間)フォトコンテスト～鉄道のある風景(四季～)」の入賞作品を新得駅待合室内に設置したデジタルサイネージで紹介しています。

皆さまのご利用・ご協力をお願いいたします



列車で行くお買い物楽しかったね! また行きたい!

みんなのおもてなしが嬉しかったよね。また来ようね。

観光客の受け入れ

同窓会を開催しますのでJRで来てください!

友人へのご利用の勧め

出張でのご利用

来週の会議は列車で行きます。